

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	もりの工房	
代表者名	一條重人	
連絡先	TEL : 090-5597-4588 FAX : 0229-67-2810	E-mail woodsfactory.2020@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	多様な活動を進めるための事業として
事業の目的	障害を抱えている小松さん自らが生き生きと働くことの素晴らしさを語ることで全ての人が活躍できる社会へとなるように貢献していきたいと活動しています。 また、酪農教育ファームファシリテーターとして食やいのち、しごとの大切さについて伝える活動になります。
事業の具体的内容	酪農教育ファームの開催や出前教室を行なって来ましたが、コロナ禍で開催ができない期間が長く続きました。 このような状況でも、なんとか活動を行いたいと思い、オンラインを活用した活動に取り組むこととしました。
活動の開始から完了までの流れ	令和4年9月2日 宮城県教育庁特別支援教育課 特別支援学校進路支援研修会にて講演を行う。 動画や画像を使い臨場のある酪農教育ファームを行うことが出来ました。 令和4年10月1日 大阪府の方とオンラインで酪農教育ファームを開催。 都心で酪農や乳牛に触れたことのない方との交流が出来大変喜ばれました。

	<p>令和4年12月3日 障害を抱え移動が困難な方とオンラインを活用に酪農教育ファームを行いました。様々な障害を抱えた方とも交流ができ、新たな可能性を感じることが出来ました。</p> <p>令和5年3月30日 牧場現地での酪農教育ファーム開催。久しぶりの対面での開催となりました。牧場見学の際に動画や画像を併用しながら、よりわかりやすい活動を行うことが出来ました。</p>
活動の成果と教訓	<p>普段なら、交流することの難しい都心の方や、移動が困難な方との交流が可能となり、新たな可能性を見出すことが出来ました。</p> <p>コロナ禍で対面での酪農教育ファームが開催できず、団体の存続が危ぶまれたなか、なんとか活動を続けて行きたいという思いで始めたオンラインでの活動でしたが、様々な可能性に触れることが出来ました。</p> <p>コロナが落ち着き、対面での活動が出来るようになりましたが、オンラインでの活動も続けて行きたいと思えます。</p>
今後の展望など	<p>今後は、様々な活動を通して、障害者が協働し、共生できる地域づくりを進めて行きたいと考えています。</p> <p>酪農生産現場から出るプラスチックごみを活用し、地域の障害者福祉施設と協力して創作活動を行い、創作物を販売することで障害者の工賃UPに繋げていきたい。</p> <p>高齢化により増加する遊休地や休耕田を活用し、障害者と共に、作物（クロモジ・桑・ミツマタなどの比較的容易に栽培が可能で収穫適期の長い）を栽培し商品化、販売することで障害者の雇用を創出していきたい。</p> <p>障害者が生まれ育った地域で暮らしていけるように、住まいと仕事を創出していきたいと考えています。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	100,000	
会費	6,800	
合計	106,800	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
備品購入	パソコン購入費	106,800	106,800
合計		106,800	106,800

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

『活動の様子』



オンラインを活用し酪農教育ファームの開催。遠方の方や移動が困難な方と交流しました。

